

信濃川水系流域治水プロジェクト (信濃川中流) の取組状況について

令和 5年 4月19日
第5回 信濃川水系(信濃川中流)流域治水協議会

信濃川水系流域治水プロジェクト（千曲川・信濃川）【位置図】 ～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

R5.3月末時点



※本対策箇所は主要箇所のみ記載しています。

※具体的な対策内容については、今後の調査・

※具体的な対策内容については、今後の調査・

■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

信濃川水系流域治水プロジェクト（千曲川・信濃川）【ロードマップ】

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

■信濃川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】令和元年東日本台風洪水、平成23年7月新潟・福島豪雨といった戦後最大規模の洪水に対し、

信濃川上流(千曲川)は堤防整備・強化及び水位低下を目的として狭窄部(立ヶ花等)の流下能力向上を含めた河道掘削、遊水地等の整備や雨水貯留施設等の整備を推進し、千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止。

信濃川中流は、狭窄部(大河津分水路河口部)の流下能力向上(山地部掘削、第二床固改築等)や遊水地等の整備、排水ポンプ、雨水貯留施設等の整備、田んぼダムの取組等を推進する。

信濃川下流では、新潟市街地等での重大な災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削、堤防整備(もぐり橋解消、やすらぎ堤構成)、排水ポンプや雨水貯留施設等の整備、田んぼダムの取組等を推進する。

また、浸水被害が発生した場合、被害が広域化・長期化する等の地域的特徴を踏まえ、都市計画マスタープラン等に基づく災害に強いまちづくりの推進や、確実な避難のためのマイ・タイムラインの活用、河川防災ステーション等の防災拠点の整備等を推進する。

【中 長 期】令和元年東日本台風洪水、平成23年7月新潟・福島豪雨といった戦後最大規模の洪水に対し、

信濃川上流(千曲川)は、家屋部で越水による浸水が発生しないよう更なる水位低下を目指して河道掘削、堤防整備、遊水地、大町ダム等再編等を推進し、災害発生の防止又は軽減を図る。

信濃川中流は、狭窄部(大河津分水路河口部)の流下能力向上(山地部掘削、第二床固改築等)や長岡市街地等での重大な災害の発生を防ぐための河道掘削等を推進する。

信濃川下流では、新潟市街地等での重大な災害の発生を未然に防ぎ、支派川の負担軽減のため、河道掘削やもぐり橋解消(小須戸橋架替・築堤)を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	戦後最大洪水等による浸水被害を軽減するための河川改修、洪水調節施設整備等	国交省、県、電力事業者	信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 大町ダム等再編事業	遊水地完成 土砂対策設備完成 洪水調節操作の実施条件が整い次第、治水効果を発現
	信濃川中流(堤防整備・強化、河道掘削、遊水地整備、大河津分水路改修事業の推進等)	国交省、県	信濃川水系緊急治水対策プロジェクト	遊水地等完成 第二床固完成 大河津分水路改修事業
	信濃川下流(堤防整備、河道掘削、小須戸橋架替事業の推進等)	国交省、県、市町村	小須戸橋架替事業	事業完成 小須戸橋架替、築堤完成
	排水機場、雨水貯留施設、排水ポンプ等の整備、田んぼダムの取組推進等	国交省、農水省、県、市町村		
	砂防関係施設の整備	国交省、県		
	海岸保全施設の整備	国交省		
	森林整備(※)・治山対策 ※グリーンインフラと関連	林野庁、県、森林整備センター		
	被害対象を減少させるための対策	県、市町村		
	高床式住まい・住宅かさ上げ等の推進	市町村		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	国交省、市町村		河川防災ステーション(長沼地区/長岡地区/天野地区)完成
被災対象を減少させるための対策	マイ・タイムライン等の活用による防災知識の普及	国交省、県、市町村		
	要配慮者施設の避難に関する取組	国交省、県、市町村		
	河川防災ステーション等の防災拠点の整備	国交省、市町村		
グリーンインフラの取組	千曲川(自然再生、千曲川北信5市町かわまちづくり、千曲川×依田川地区かわまちづくり、千曲川×戸倉地区かわまちづくり、大石川かわまちづくり)	国交省、県、市町村	自然再生 かわまちづくり 千曲川×依田川地区 千曲川北信5市町 千曲川×戸倉地区 大石川	
	信濃川中流(魚道整備、多様な生物の生息環境への配慮、生態系ネットワークの形成)	国交省、県、市町村	多様な生物の生息環境への配慮 魚道整備(大河津分水路改修事業)等	越後平野生態系ネットワークの形成
	信濃川下流(湿地環境の創出、水辺の賑わい空間の創出、生態系ネットワークの形成)	国交省、県、市町村		
【事業規模】				

気候変動
を踏まえた
更なる対策
を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

■河川対策

全体事業費 約7,409億円 ※今後、調査・検討のうえ、必要な対策として実施する
洪水調節機能の向上の費用は含んでいない。

対策内容 河道掘削、遊水地、堤防整備、堤防強化、護岸整備、放水路整備、(信濃川水系直轄砂防事業及び浅間山直轄火山砂防事業として)※新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業として
排水機場整備、河川管理施設耐震対策、河川防災ステーション、橋梁架替、
災害復旧、大河津分水路改修、大町ダム等再編、裾花川流域ダム再生事業等

■砂防対策

全体事業費 約1,131億円

対策内容 対策内容
砂防関係施設の整備等

■海岸対策

全体事業費 63億円※

対策内容

■下水道対策

全体事業費 約816億円

対策内容
排水ポンプ、
雨水貯留施設整備等

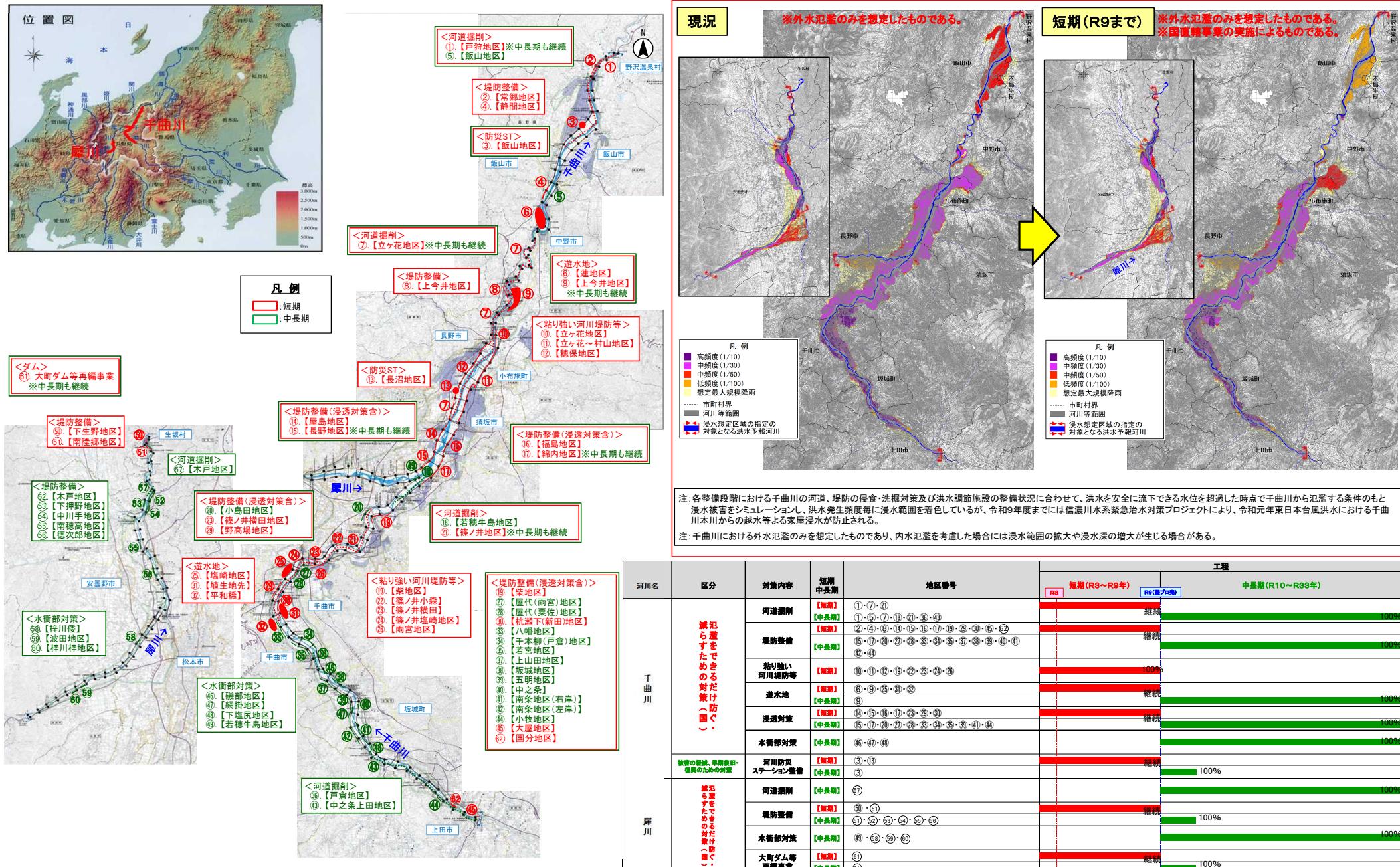
信濃川水系流域治水プロジェクト（千曲川）【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となつた防災・減災対策の推進～

R5.3月末時点

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトによる河道掘削、遊水地整備等により、令和9年度までに令和元年東日本台風洪水における千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止。

短期整備(5か年加速化対策)効果 ：河川整備率 約44.4%→約50.6%

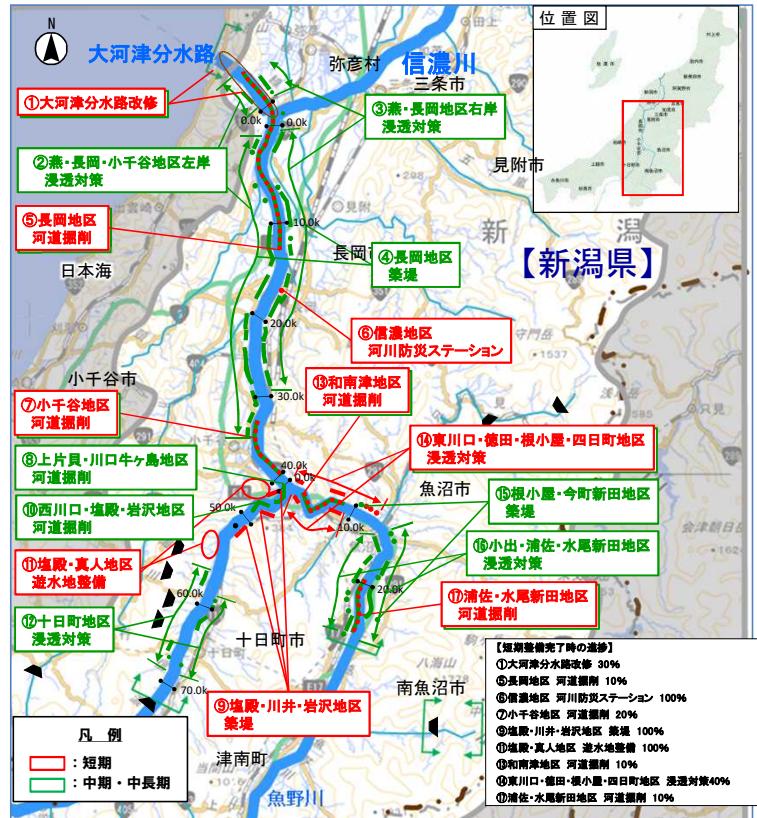


信濃川水系流域治水プロジェクト（信濃川）【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進

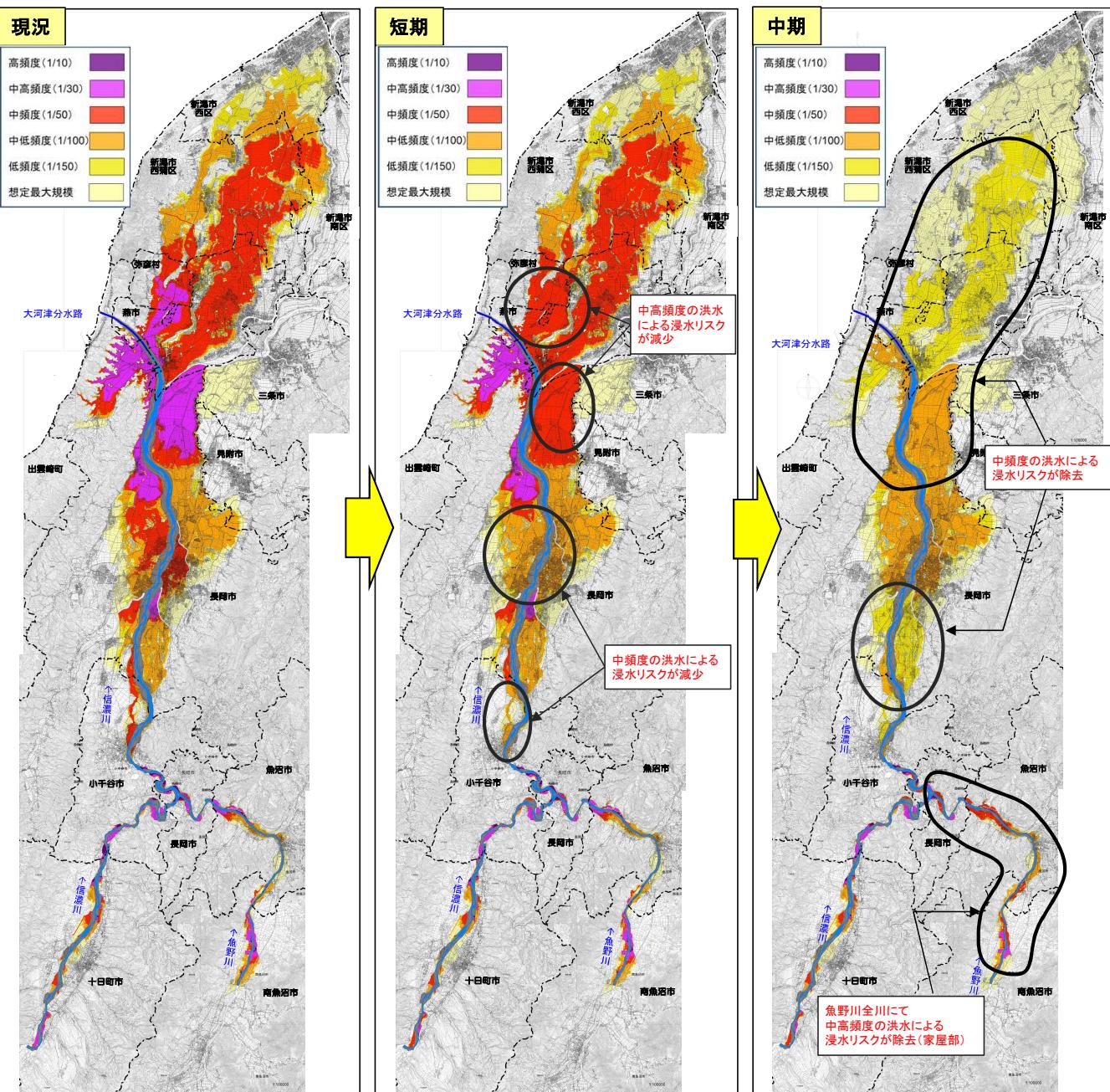
R5.3月末時点

大河津分水路「令和の大改修」を推進し、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトによる堤防整備、河道掘削、遊水地の整備等により、上下流バランスを確保しつつ、令和元年東日本台風洪水に対する信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止。



整備箇所・内容		初期(R3~R7)		中期(R8~R14)		中長期(R15~R33)	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標
信濃川	① 大河津分水路改修	山地防護附・低水路整備等	30%	80%	100%		
	② 長、長谷・小千谷地区左岸	堤邊対策	■ ■ ■ ■ ■	30%			100%
	③ 長、長岡地区右岸	堤邊対策	■ ■ ■ ■ ■	30%			100%
	④ 長岡地区	築堤	■ ■ ■ ■ ■	100%			
	⑤ 長岡地区	河道削削	10%	20%			100%
	⑥ 倭根地区	河川防災ステーション	100%				
	⑦ 小千谷地区	河道削削	20%	40%			100%
	⑧ 上越・川口牛ヶ島地区	河道削削		20%			100%
	⑨ 倭根・川井・塩尻地区	築堤	100%				
	⑩ 西口・塩尻・滝沢地区	河道削削		100%			
魚野川	⑪ 倭根・真人地区	透水地盤整備	100%				
	⑫ 千手町地区	堤邊対策					100%
	⑬ 如南跡地区	河道削削	10%	100%			
	⑭ 滝田・口・滝田・穂木・四日町地区	堤邊対策	40%	100%			
	⑮ 穂木・四日町地区	築堤		100%			
魚野川	⑯ 小千谷・水尾新町地区	堤邊対策					100%

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約62.3%→約63.9%



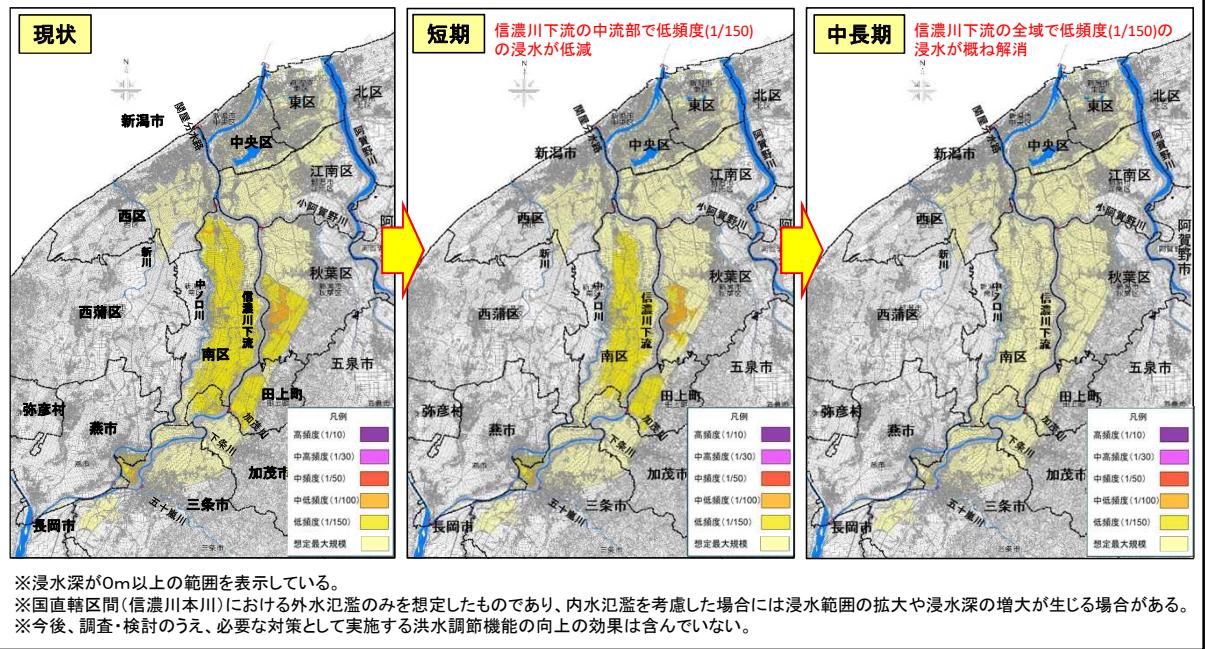
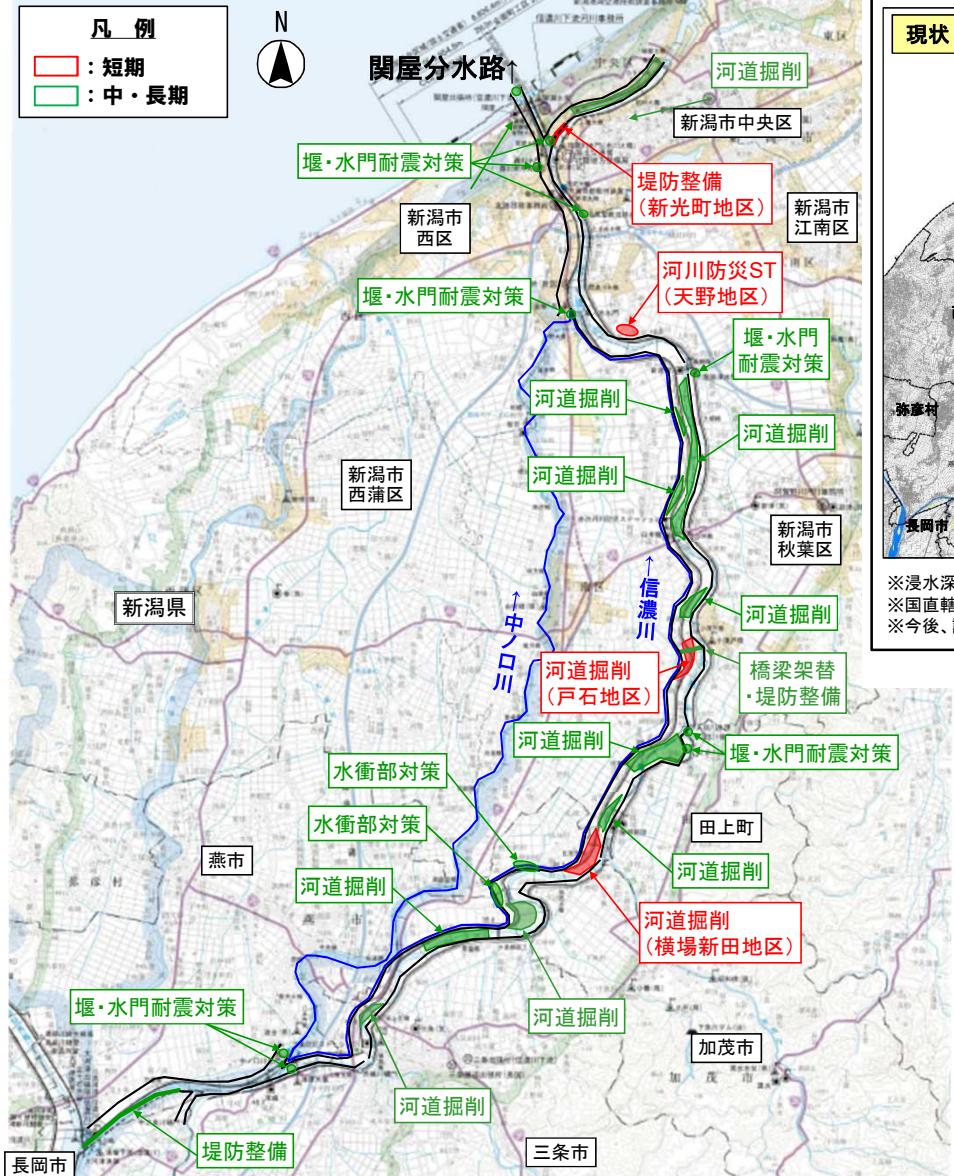
※漫水深が0m以上の範囲を表示している。

※国直轄区間ににおける外水氾濫のものを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。12

※会後、調査・検討のうえ、必要な対策として実施する洪水調節機能の向上の効果は含んでいない。

- 短期整備として、戸石地区、横場新田地区の河道掘削を完了させることで、信濃川本川中流部の浸水被害の軽減を図るとともに、信濃川本川下流の新光町地区の築堤及び天野河川防災ステーションの整備を完了させ、治水安全度の向上を図る。
- 中長期整備として、新潟市街地等での重大な災害の発生を未然に防ぎ、支派川の負担軽減のため、河道掘削やもぐり橋解消（小須戸橋架替・築堤）を推進する。

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約47.3%→約58.4%



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります 13

信濃川水系流域治水プロジェクト（千曲川・信濃川）【流域治水の具体的な取組】

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

R5.3月末時点

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：
千曲川 50.6%
信濃川中流 63.9%
信濃川下流 58.4%
(概ね5か年後)

農地・農業用施設の活用



36市町村
(令和4年度末時点)

流出抑制対策の実施



26施設
(令和3年度実施分)

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所
(令和4年度実施分)
砂防関連施設の
整備数
(令和4年度完成分)
※施工中 77施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



2市町村
(令和4年12月末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域
(令和4年9月末時点)
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定
区域
(令和4年9月末時点)
259河川
1団体

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 土砂 635施設
(令和4年9月末時点)
個別避難計画 24市町村
(令和4年1月1日時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

大河津分水路改修(河川整備)

信濃川中流最下流部でボトルネックとなっている大河津分水路河口部の拡幅を実施し、上流への水位のせき上げや堤防決壊のリスクを解消及び上流区間での改修を着手・推進を図る。



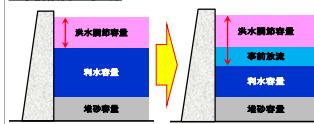
ダムの事前放流(流出抑制対策の実施)

洪水発生前に大雨に備えて利水容量の一部を事前に放流し、洪水調節のための容量として活用。

奥掘花ダムにおける事前放流実施状況

河川管理者、ダム管理者及び関係利水者による「洪水調節機能強化に関する治水協定」を締結し、事前放流等の取り組みを推進。

■事前放流の考え方



農業用ため池の活用(流出抑制対策の実施)

ため池の貯水位を下げ、空き容量を確保することにより、降雨時の流入を一時的に貯留させ、河川の流出量を抑制。

長野市浅川大池(低水位管理の様子)

■時 一時 貯 留 量

満 水 位

低 水 位

洪 水 量

貯 水

時間

ため池がない場合

ため池がある場合

洪水調節

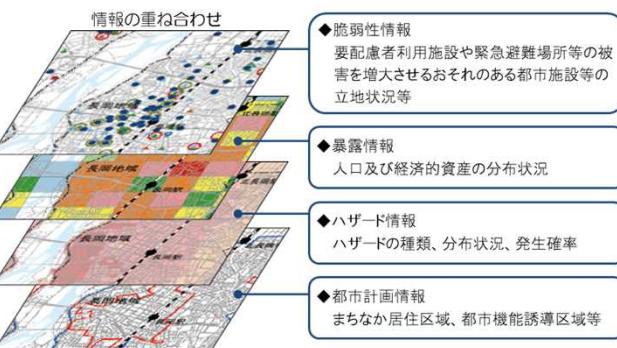
ため池で一時貯留した場合

被害対象を減少させるための対策

水害に強い地域づくりのためのまちづくり方策検討・リスク情報の充実

浸水等ハザードの程度・起こりやすさ、ハザードを被る人命・資産（暴露情報）及び被害の受けやすさ（脆弱性情報）の総合的な評価及び河川等の防災施設整備の方向性等を踏まえたまちづくり方策を検討。

対策・検討イメージ



災害に伴う被害リスクをエリア毎に評価することで、地域別のリスク傾向を分析・評価する。

住まい方の工夫(高床式住まいの推進)

克雪対策として実施しているによる高床式住宅への補助を、浸水被害の軽減に資する対策としても普及・促進

家屋の基礎部分を 鉄筋コンクリートで高床化



被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

河川防災ステーション(防災拠点の整備)

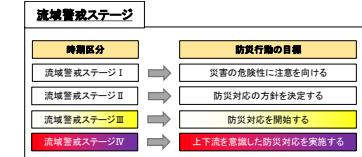


信濃川水系の洪水被害を最小限とするため、災害時の活動拠点となる河川防災ステーションの整備を推進。また、イベント時の活用のほか、防災訓練や防災学習の場としての活用など、平常時の利活用を推進することで、地域の賑わいづくり及び防災に対する意識向上を図る。

流域タイムラインやコミュニティ・タイムライン等の活用

【流域タイムライン】

流域全体で危機感を共有し、各機関が流域の警戒ステージに応じた防災行動計画を整理・作成し、災害発生の的確な行動を促進。



千曲川・犀川流域
(緊急対応) タイムラインの実施状況

【コミュニティ・タイムライン】

国、自治体、地域住民の協働で作成する、地域単位での避難行動計画を作成。

【令和4年度の実績】

- 長野市長沼地区【作成済】
- 須坂市北相之島地区【作成済】



長野市長沼地区的取組状況

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの実施状況

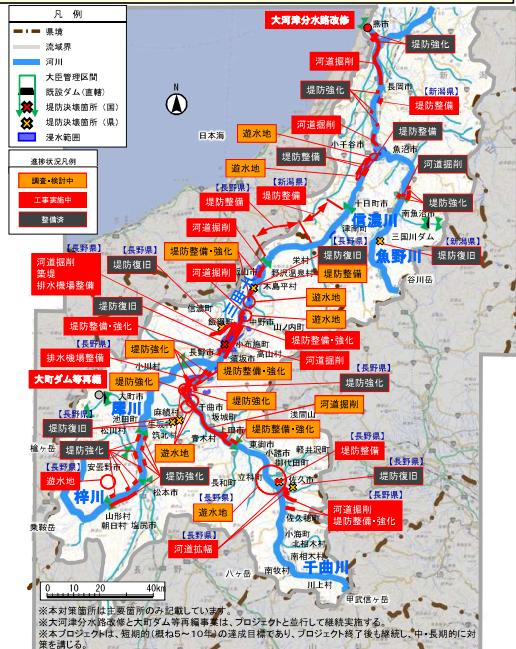
河川における対策

令和4年
12月末時点

◇原型復旧は、全802箇所のうち、令和3年8月出水による被害拡大箇所等を除く792箇所が完成（進捗率：99%）。

◇改良復旧は、狭窄部の掘削及びその上流の堤防（左右岸約18km）について、堤防強化を推進中

◇遊水地は関係者（地元）説明会を開催し、丁寧な説明を行いつつ早期の着手を目指している。



原型復旧の進捗

千曲川河川事務所

24箇所／24箇所（国管理区間）

5箇所／5箇所（権限代行区間）

国管理 100%

権限代行 100%

長野県

670箇所／680箇所※権限代行除く

※改良復旧同時施工箇所10箇所を除く

99%

信濃川河川事務所 新潟県

12箇所／12箇所 81箇所／81箇所

100%

100%



令和2年6月撮影 長野県長野市 稔保地区 復旧状況

令和3年7月撮影 長野県東御市 本海野地区 復旧状況

改良復旧等の進捗

①河道掘削（10箇所 281.0万m³）

設計

用地調査

用地補償

工事

進捗率

施工状況

千曲川

令和4年12月撮影

②築堤・堤防整備（量的整備）（25箇所 129.3万m³）

設計

用地調査

用地補償

工事

進捗率

施工状況

千曲川

令和4年12月撮影

③堤防強化（質的整備）（26箇所 31.7km）

設計

用地調査

用地補償

工事

進捗率

施工状況

千曲川

令和4年12月撮影

④遊水地（9箇所）

地元説明会実施回数

信濃川河川事務所 14回 長野県 6回

千曲川河川事務所 73回

8遊水地で住民説明会実施中

※黒沢川遊水地（長野県施工）

用地調査、用地補償及び工事を実施中

中野市上今井地区住民説明会の状況

※令和4年12月末時点における、必要数量に対する数量・進捗率

大河津分水路改修事業の進捗状況

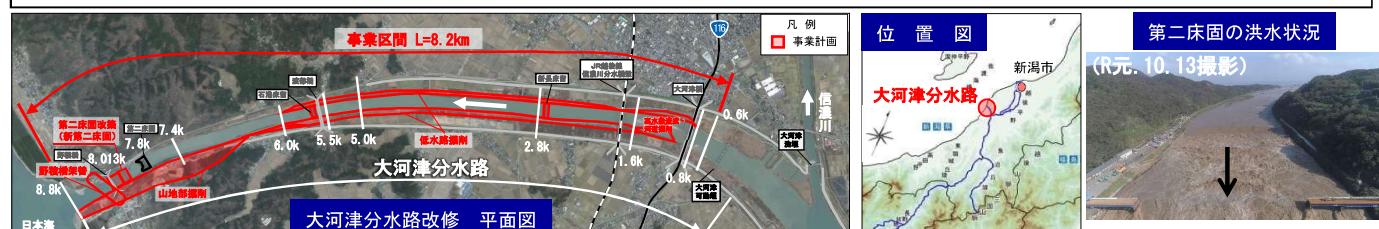
河川における対策

新潟県長岡市・燕市

令和5年
1月末時点

○大河津分水路は、信濃川の洪水から越後平野を守るために、大正11年（1922）に通水した人工の放水路ですが、洪水を安全に流下させるための断面の不足、施設の老朽化等の課題があります。

○こうした課題の解消のため、平成27年（2015）より大河津分水路改修事業に着手し、「令和の大改修」として山地部掘削・低水路拡幅、第二床固改築、野積橋架替等を進めております。



第二床固改築

項目	進捗状況
現況可動部（全9函）	■本提工 鋼殼ケーンソン 3函設置完了 ■減勢工 一部完了 ■第二床固改築（新規第二床固） 8.013k ■山地部掘削 8.8k
河道拡幅部	未着手

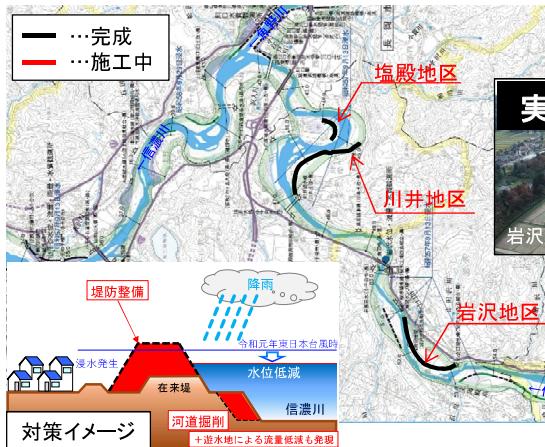
…完了
…施工中…完了
…施工中

堤防整備（塩殿・川井・岩沢地区）の進捗状況

- 当該区間は、洪水を流下させるための断面が不足し、かつ無堤または弱小堤防区間であり、洪水処理能力が不足しています。
- 令和元年東日本台風では、浸水被害が発生したことから、平成26年度から実施している河道掘削・堤防整備と合わせ、無堤及び弱小堤防区間の堤防整備を加速し推進しています。



項目	進捗状況
用地 〔土地所有者・関係人数全体に対する契約済の割合〕	100%
工事 〔総土量に対する築堤土量の割合〕	100%



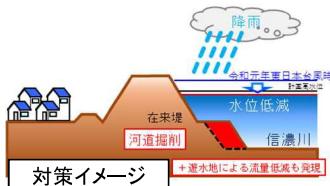
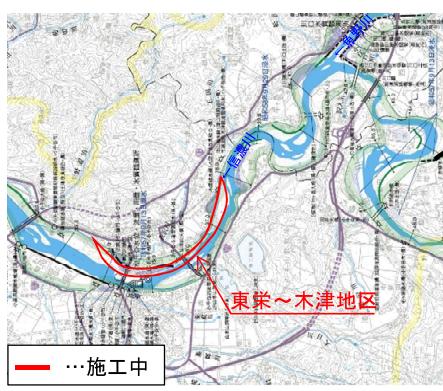
河道掘削（小千谷市東栄～木津地区）の進捗状況

- 当該区間は、洪水を流下させるための断面が不足していることから、令和元年東日本台風時には、計画高水位を超過し堤防が危険な状況となつたほか、護岸が崩壊する被害が発生しました。
- そのため、洪水時の水位を低下させ、かつ河岸際に生じる高流速を軽減させるための河道掘削を実施しています。
- 令和2年度に河道掘削に着手し、令和4年度も河道掘削を継続して実施します。令和6年度までに約39万m³(※)の土砂を掘削することを予定しています。

※ 挖削土量は現在精査中であり、変更となる場合があります。



項目	進捗状況
用地 〔土地所有者・関係人数全体に対する契約済の割合〕	該当無し
工事 〔総土量に対する掘削土量の割合〕	60%



※東栄地区 令和2年6月
※東栄地区 令和4年11月25日

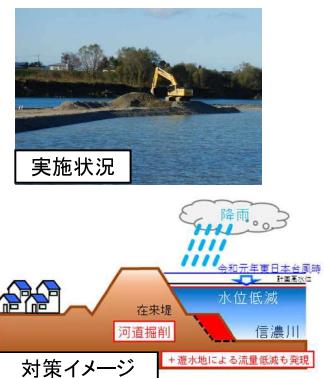
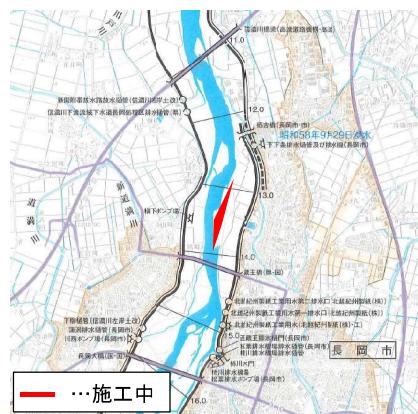
- 当該区間は、洪水を流下させるための断面が不足していることから、令和元年東日本台風時には、計画高水位を超過し堤防が危険な状況となつたほか、堤防からの漏水被害が発生しました。
 - そのため、洪水時の水位を低下させるための河道掘削を実施しています。
 - 令和3年度に河道掘削に着手し令和4年度も河道掘削を継続して実施します。令和6年度までに約47万m³(※)の土砂を掘削することを予定しています。
- ※ 挖削土量は現在精査中であり、変更となる場合があります。



項目	進捗状況
用地 〔土地所有者・関係人数全体に対する契約済の割合〕	該当無し
工事 〔総土量に対する掘削土量の割合〕	26%



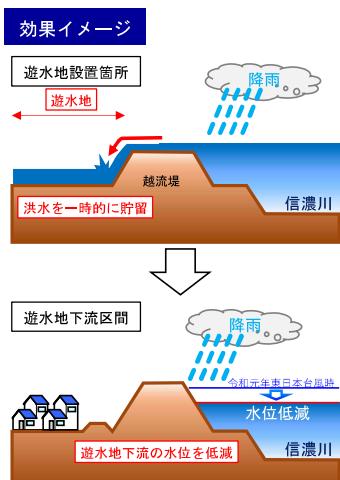
※槇下地区 令和3年5月



※槇下地区 令和4年11月25日

- 令和元年度東日本台風洪水により、信濃川中流域では高水位の発生とそれに伴う堤防漏水、護岸の崩壊等の被害が多数発生しました。
- 洪水時の水位を低下させ、かつ河岸際に生じる高流速を低減させるため、下流域で実施する河道掘削と併せ、洪水を一時的に貯め込む遊水地を整備します。（塩殿地区・真人町地区）
- 整備にあたっては、地元説明会等により地域の意向をしっかりと聴き、整備案や整備方針を検討します。

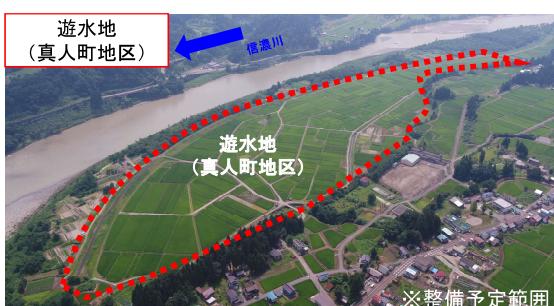
項目	進捗状況
用地	調査中
工事	施設設計 実施中



地元説明実施状況



・今後の調査設計方針の共有、地元との意見交換の実施



・既存遊水地の視察・意見交換の実施

- 令和3年度から、長岡地区の河川防災ステーションの整備に着手しました。洪水時に市町村が行う水防活動を支援し、施設被害が発生した場合等には緊急復旧などを迅速に行う基地です。平常時は、地域の人々の交流や憩いの場として活用できる施設です。
 - また、令和3年6月には、河川防災ステーション整備予定地の長岡市左近町地先にて、令和2年度から先行して整備していた災害対策車両庫が完成したとともに、排水ポンプ車2台と照明車2台を新たに配備しました。

長岡河川防災ステーションの概要

■ 整備個所位置



■災害対策車庫の整備・災害対策車両の配備

長岡市左近町地区に、災害対策車両庫が完成(令和3年6月)



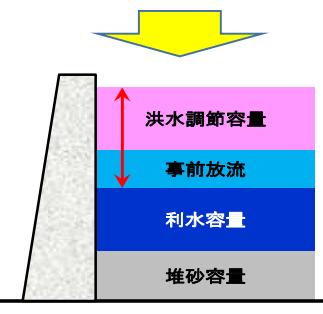
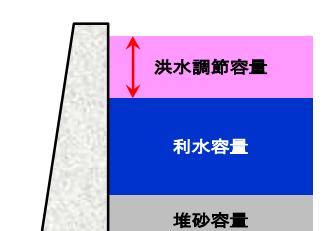
完成した災害対策車両庫に排水ポンプ車・照明車を新たに2台配備。信濃川河川事務所管内において、令和3年度現在、それぞれ6台配備



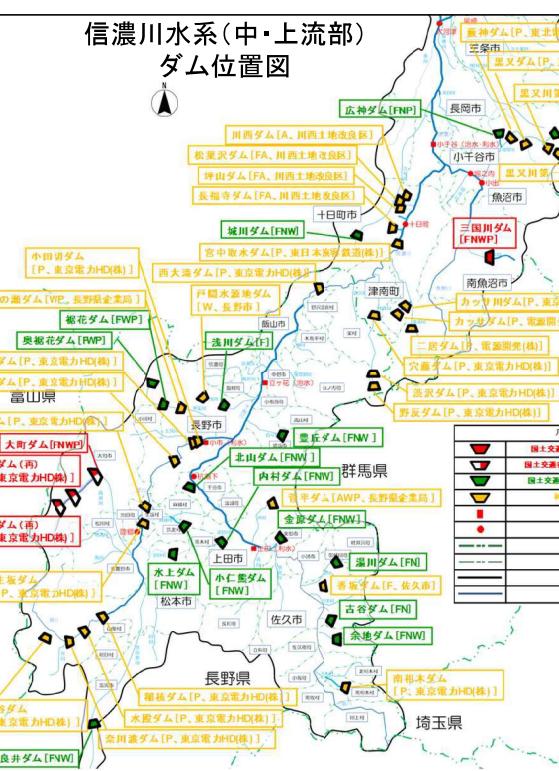
- 河川管理者である国土交通省と利水ダム管理者等との間において、事前放流に関する協定を信濃川水系にある50の利水ダム等と令和2年5月29日に締結・運用を開始。(中流部:20、上流部:30)
 - 信濃川水系では、水害対策のために使える容量の割合※がそれまでの25.8%から、締結後に72.5%へと向上。
 - また、令和3年9月に、既存ダムの更なる洪水調節機能強化に向けた取組の推進に向け、「信濃川水系(中流部)ダム洪水調節機能協議会」を設立。
 - 令和3年8月の出水では、信濃川水系(上流部)の10ダムにおいて治水協定に基づき、事前放流の操作を行い、利水容量内で約2,570万m³の「治水のための容量」を確保し、約1,080万m³を貯留。

事前放流とは

洪水発生前に大雨に備えて利水容量の一部を事前に放流し洪水調節のための容量として活用。



信濃川水系(中・上流部) ダム位置図



R3.8出水時の事前放流の実施状況 (信濃川上流部)

ダム名	管理者	実施範囲
長野堰	①8月12日16:00~9月1日13時 ②9月14日 7時~9月14日13時	
長野堰	8月12日14時~4月3日19時58分	
長野堰	8月12日16:00~9月1日21時00分	
長野堰	8月13日24時~4月1日0時	
長野堰	8月13日16:00~9月1日23時00分	
木田・佐久須	8月13日14時~9月1日20時30分	
木田・佐久須	8月13日12時30分~9月1日21時24分	
長野堰	8月12日14時~4月3日19時58分	
東電・電力会社アプローブ(一括)	8月13日16:00~9月1日23時00分	
東電・電力会社アプローブ(一括)	8月13日12時30分~9月1日21時24分	

ム※ 東京電力リニ

(信濃川中流部)

ダム名	管轄省	実施期間
ダム 東京電力リニューアブルパワー(株)	8月12日8:39～8月13日8:40	
ダム 川西土木改良区	8月12日20:00～8月13日21:00	
ダム 川西土木改良区	8月12日21:00～8月13日21:00	
ダム 東日本旅客鉄道(株)	8月13日8:45～8月13日12:45	
ダム 川西土木改良区	8月12日21:00～8月13日21:00	



●従前、洪水時の河川水位等の緊急性の高い情報を市町村長へ個別に電話等で伝達し、避難指示や水防活動などの緊急対応を支援するホットラインの取組を実施してきましたが、これを強化するため、WEB会議システムを通じた情報伝達が実施できるよう体制を整備しました。

●事務所管理区間の全ての自治体に対して同時に、画像等を用いて分かりやすく説明することが可能となりました。

WEBホットラインの実施訓練

■複数の関係自治体と同時接続



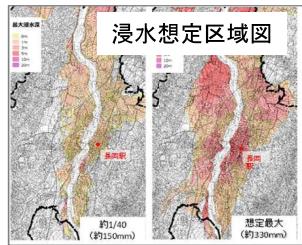
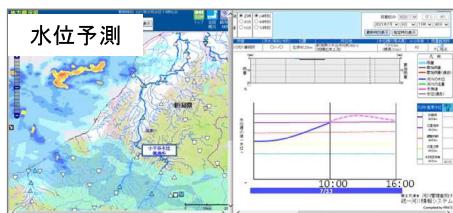
日 時：令和3年7月13日（水） 10:30～11:00

手 法：信濃川河川事務所と自治体がWEB会議システムを用いて情報交換

参 加：長岡市長及び管内自治体担当者

（燕市、小千谷市、十日町市、魚沼市、南魚沼市）

■画像等を用いて分かりやすく説明



※資料は訓練用に作成したものです。実際に用いる資料と異なる場合があります。

民間企業への水害BCP策定支援について

- 近年の水害被害では住家の浸水被害だけではなく事業所の設備被害が多発。
- 管内企業の水害リスクを想定した事業継続計画(BCP)に関するアンケート調査では水害BCPの策定企業は約3%、また6割以上の企業で「必要だが策定予定なし」という結果であり、水害発生時の脆弱性が課題に。
- 信濃川河川事務所では令和3年度に地域防災力の向上をめざし、水害BCPの策定支援のセミナーを実施。

企業防災力向上セミナーの開催

■実施の様子



■開催日時：令和3年8月26日

■場所：燕商工会議所

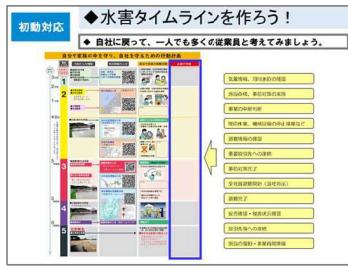
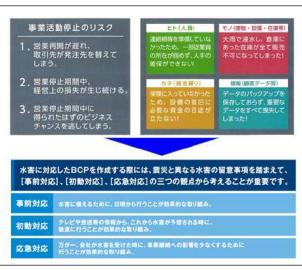
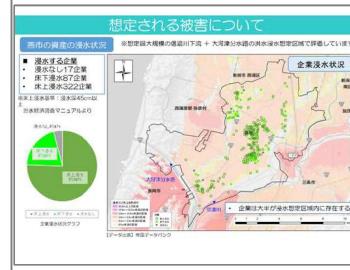
■対象者：燕商工会議所管内の企業等

■参加者：36企業50名(WEB併用)

※燕市役所・商工会議所職員含む



■ハザードマップの見方や、企業における浸水対策・防災計画について共有



説明資料の一部

- 令和4年8月25日に大河津分水が通水から100年を迎えた。これらが整備されるまでの歴史や、その恩恵を再認識し、地域のつながりを形成しつつ、これからへの越後平野の未来を考える取り組みとして、地域と連携した企画を開催しました。
- 大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年未来に繋がる実行委員会において分水講演会、6館リレー展、分水サミット、未来に繋がるシンポジウムを実施。今後も「信濃川大河津資料館」などの施設や関連動画の活用を通じて地域の水防災意識の向上を図ります。



日本海に注ぐ大河津分水路(現在)
【1922年(大正11年)8月25日通水】



流域の9市町村で分水講演会を実施



8月25日の通水100周年記念日には「大河津分水の日」を開催



JR越後線 信濃川分水橋梁

大河津水位観測所において
はん濫危険水位を約12時間超過

令和元年東日本台風時の様子

大河津分水が守る越後平野等の地域の
水防災意識の改善を図る重要なきっかけに



県内6施設で治水の歴史等を振り返る企画展を実施



広報施設の活用



分水サミットでは流域の9つの小学校が集い、川の学習成果を発表

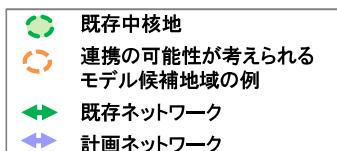


防災・親水について流域9首長がディスカッションを実施

北陸地整 越後平野における生態系ネットワークの形成(信濃川水系信濃川)

グリーンインフラ
に関する取組

- 信濃川流域(信濃川水系下・中流)では、ガン類、ハクチョウ類、トキといった大型水鳥を指標種・シンボルとした生態系ネットワーク形成の取組を、国・県・市町村、学識者、環境団体等が参画する協議会を設置し議論している。
- 越後平野の河川(信濃川及び阿賀野川)を基軸とし、その周辺の支川、水路、潟池、水田、里山、森林等における大型水鳥の保全・活用の現状や河川環境関連事業について整理し、今後、連携の可能性が考えられる事業やモデル候補地域について検討・協議し、生態系ネットワークの形成に向けた取組、豊かな自然環境を活用した魅力的な地域づくりの取組の推進を行う。



福島潟・瓢湖エリア

- 取組内容(案)：個体数調査、環境教育・観察会、ハクチョウ観察ツアー、パンフレット配布、グッズ・ブランド農産物の開発・販売、水鳥のバトロール
- 主な取組主体：今後検討



阿賀野川下流エリア

- 取組内容(案)：河岸浅場の創出、ワンドの再生、魚道設置等の自然再生事業
- 主な取組主体：阿賀野川河川事務所など



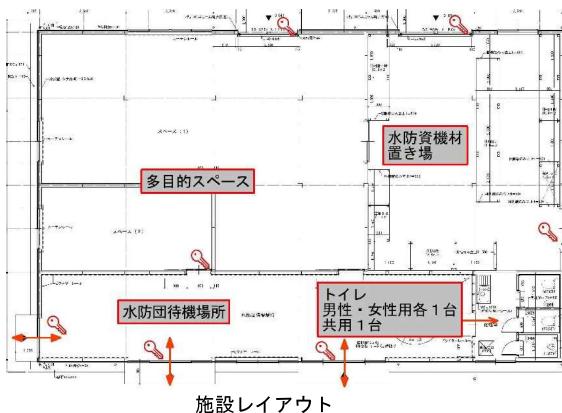
国土交通省が整備する「天野河川防災ステーション」内に、水防活動の拠点施設として「新潟市天野水防センター」の整備を行った。災害時には一時避難場所としての役割も担う。また、平時には地域の防災活動等での活用も見込んでいる。

○構造・面積：木造平屋建て・約298m²

○室名：水防団待機場所…約66m²、多目的スペース…約137m²、水防資機材置き場…約 82m²



位置図



施設レイアウト



建物内写真（多目的スペース）



建物外観写真

都市防災まちづくり検討事業

- 近年、頻発・激甚化する水災害に対し、国は都市再生特別措置法を令和2年6月改正（令和2年9月施行）し、立地適正化計画に防災指針を位置付けるとともに、令和3年5月「水災害リスクを踏まえた防災まちづくりガイドライン」を策定。
- 平成29年7月公表の長岡市立地適正化計画が中間評価年度を迎えたことから、関係機関と連携し新たに防災指針を立地適正化計画に位置付け、まちづくりとの整合により防災・減災のハード・ソフト対策を展開する。
- 令和3～4年度：立地適正化計画策定委員会（全6回 委員：学識者及び産業・福祉関係者 オブザーバー：国、県）

○防災指針の策定

都市計画などのまちづくり情報に、水害や土砂災害などのハザード情報、人口や建物分布情報、緊急避難場所などの情報を重ね合わせ、各災害に伴う被害リスクを、エリアごとに分析・評価してとりまとめ、防災まちづくり上の課題を整理。

災害リスク分析・評価の進め方（イメージ）



○防災・減災対策の取組方針

災害リスク分析から明らかとなった防災まちづくり上の課題に対し、取り組むべき施策を整理。計画の実効性を高めるため、施策及び取組の主な対象者等を体系的に記載。

【施策区分】

1. 災害発生を防止するための対策
2. 人的被害を最小化するための対策
3. 建物等財産被害を最小化するための対策

防災・減災対策施策の例（「民間等による実施を期待する取組及び支援制度」抜粋）

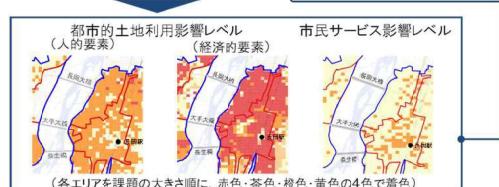
施術区分	対策	制度等名称	支援制度		所管 官庁等	主な 対象者
			概要	交付金		
水 害	住宅・施設 の耐水化	医療施設浸水対策事業	地域の医療提供体制の観点で浸水想定区域等から移転することができる政令医療実施機関等が行う医療用設備、電気設備の移設、止水栓の設置等の浸水対策に関する交付金	国・県・市	事業者	事業者
		地域介護・福祉空間整備等 施設整備交付金	高齢者施設等における水害対策に伴う改修等に対して支援	国・県・市		
	長岡市防水壁設置補助金	建築物等の出入口等に設置し、浸水に耐える材質で、取りはずし又は移動が可能な防水版（止水板）の設置費用の一部を補助	個人・事業者			

【評価指標の設定】

いかなる災害においても人命の確保が最優先に図られる必要があることから、防災の観点による評価指標を設定。まちなか居住区域の安全性を評価し、継続的にフォローアップを実施する。

評価指標：「安全性が高いエリアに居住する人口の割合」

災害種別	評価指標
	安全性が高いエリアに居住する人口の割合
水害(外水)	中・低頻度の洪水浸水想定において、浸水深 0.7m 未満となるエリアの居住人口の割合
水害(内水)	高頻度の内水浸水想定において、浸水しない（浸水深 0m）エリアの居住人口の割合
土砂災害	土砂災害警戒区域（イエローゾーン）外及び土砂災害対策が実施された区域の居住人口の割合
地震	地震被災想定による建物全壊率が 50%未満であるエリア及び同エリア外で建て替えられた住宅の居住人口の割合



各家庭での備え・取り組みの強化

○見附市では、市内の小中特別支援学校全13校で防災スクールを実施している。子ども達は、学校で過去の災害を学び、これから災害に備えて考えることができます。それに比べ、家庭においては防災について考え、触れる時間が少ないため、逃げ遅れ防止と、災害への事前の備えを強化します。

災害から命を 守るために

防災訓練に、全11の地域コミュニティ組織が避難者として訓練に参加

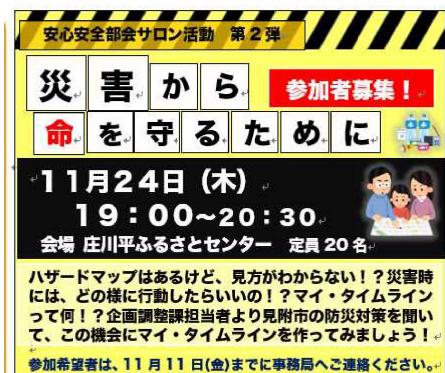
- ① 実災害時を想定し、避難情報発令後に避難行動を開始
- ② アンケートで避難情報の受け取り方法、自宅から避難所への移動時間を集計



「日頃からの備えが必要と感じた」といった感想が聞かれた

「マイ・タイムライン」の作成を推進

地域コミュニティと協力し、ハザードマップの見方、マイ・タイムラインの作成について説明。その場でマイ・タイムラインを作成してもらうなど、災害への事前の備えを考えてもらいます。



R4.11.24庄川平地区コミュニティ

R5以降も継続開催

R6までに全11の地域コミュニティで実施するとともに、毎年内容を少しずつ変化させ、継続して開催することを考えています。

(例)

- R5: ハザードマップ
マイ・タイムライン



- R6: 災害に備える備蓄物資
マイ・タイムライン



- R7: 避難所への安全な経路

大河津分水路通水100周年PR事業による防災啓発

○大河津分水路通水100周年記念として、全年齢層の市民が興味を抱くようなイベント等を開催し、信濃川の流域治水への理解促進と防災・減災意識の向上を図りました。

商業イベントと関連付けた通水100周年事業



大河津分水
サンクスフェスタ
～百歳お誕生日会～



大河津分水伝を朗読劇
化し上演



通水100周年田んぼ
アートなど農業まつり

子どもの治水・防災への理解を深める事業



小学生に大河津分
水路を知ってもら
う学習塾

100周年お祝い紅白
デザートが付いた
記念給食メニュー
の作成



可動堰マンホール
カードの作成

「令和の大改修」見学事業



市民向けの
改修工事現場見学会
(令和5年3月19日実施予定)

排水機場の整備

- 魚沼市では、平成23年7月豪雨(時間最大雨量60.5mm/h)等により、過去に内水浸水被害が度々発生。
- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、内水被害を軽減する取組みとして、四日町排水ポンプ場の整備を令和7年度完成に向け、工事を進めています。

内水被害を軽減する取組

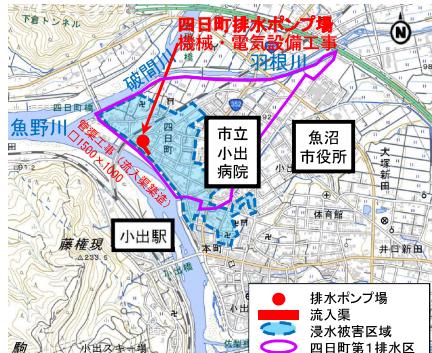
○事業概要

・旧四日町第2排水区及び
旧袖八川第12排水区の両
地区から、四日町排水ポン
プ場へ集水する連絡水路を
整備します。

・四日町排水ポンプ場
(排水能力3.9m³/s)を整備
します。

○令和5年度実施内容

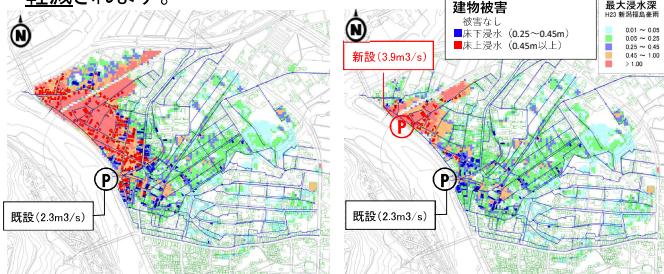
・四日町排水ポンプ場の機
械・電気設備工事、管渠工
事



事業効果

○四日町排水ポンプ場による効果の検証

四日町排水ポンプ場(排水能力3.9m³/s)を整備することで、
平成23年7月の新潟・福島豪雨(実績洪水)に対し、床上浸水が
軽減されます。



平成23年7月新潟・福島豪雨による被害状況

JR只見線や魚野川堤防沿いの地盤高
が低い地域を中心に広範囲で浸水被害
が発生しました。



表-1 浸水被害状況

住居		非住居			
床上浸水	床下浸水	計	床上浸水	床下浸水	計
72	180	252	12	98	105

整備前

床上浸水：72戸
床下浸水：180戸



整備後

床上浸水：40戸
床下浸水：78戸



四日町排水ポンプ場(令和7年度完成予定)

住民を対象とした水防教育の実施

南魚沼市では、出前講座形式での防災教育・防災講座等を実施し、地域住民・学校などへの水防教育を推進し地域防災力の向上を図っています。

【当市の特徴】

- ・大規模な説明会形式ではなく、気兼ねなく意見交換できるように比較的小規模な座談会形式での実施を推進。
- ・説明内容は、その地域での過去の被害状況などを写真や地図を交えて説明することにより具体性のある内容とし、災害をより身近なものとして感じてもらえるような構成としている。
- ・小学生などには教材用のDVDなどを取り入れ、動画を見ながら学習できる内容としている。
- ・授業後に備蓄食料の提供を実施。

【募集方法】

- ・毎年広報誌やウェブサイトに掲載し幅広く募集。

【R3実績】

- ・小学校2件、総合支援学校1件実施済み。

【過去の実績】

- ・高校、小学校、学童クラブ、老人クラブ、婦人会など
例年5~10件実施。

水防教育の様子

小学校



小学校



説明資料

過去の被害状況写真とハザードマップ
を比較しながら説明



3-③ 避難の考え方

屋外避難におけるリスク [洪水]



○津南町では、令和元年台風第19号（東日本台風）の際、浸水想定区域内に所在する要配慮者利用施設の入居者が避難所へ避難した経験から、避難行動要支援者への避難支援のため避難訓練等を実施し、要配慮者利用施設職員にむけた災害リスクや避難場所、避難のタイミングの理解促進、速やかな避難行動の実施にむけ、消防団や自主防災組織などの関係機関と連携・体制構築を推進しています。

【避難訓練実施概要】

日 時：令和4年10月22日（土）

実施団体：グループホームゆうゆ（浸水想定区域内要配慮者利用施設）

参 加 者：施設関係者（施設職員及び入居者）、消防団員、地元集落関係者（区長など）、町など約50名

訓練内容：台風による大雨・洪水を想定し、信濃川増水時の防災情報や洪水予報の収集と理解、迅速な情報伝達と避難体制の確保、関係機関への支援依頼、関係機関による施設入居者の避難誘導

避 難 訓 練 の 様 子



◎ 訓 練 に 参 加 し て . . .

- 前回（令和2年度実施）訓練では施設管理者がすべての指揮を執ったため、役割分担や代理者の育成が課題となっていたが、今回の訓練では他の職員が指揮を執る、役割分担が細分化されているなど施設職員の対応に大きな改善があった。
- 訓練参加者が施設職員の「自助」による災害対応だけでなく、地域の消防団員や集落関係者等と連携して訓練を実施するなど、「共助」による災害対応の重要性を再認識することができ、訓練実施の重要性も改めて認識できた。

（様式2-取組概要）

カテゴリ	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
内 容	親松排水機場をはじめとした各排水機場の見学会を通じて住民等の水防意識の向上を図る
実施主体	新潟県新潟地域振興局農林振興部

新潟地域振興局農林振興部は、親松排水機場のほか、大秋排水機場、白根排水機場の施設見学をとおして、見学者に施設の役割や流域における地形、水害対策の歴史等について説明し、理解を深める取組を実施しています。

【実施概要】

- 日 時：平日9時～16時（随時受付）
- 見学者：地域の小学校・中学校の生徒、自治会及び新潟県内外の多種多様なグループ

見学者数	年度	親松排水機場	大秋排水機場	白根排水機場	計	備考
	令和元年度	1,062名	91名	118名	1,271名	
	令和2年度	73名	0名	0名	73名	
	令和3年度	225名	12名	20名	257名	
	令和4年度	436名	25名	17名	478名	H5.1.31現在

※新型コロナウイルスの影響により、R2.4.1～10.31、R3.8.10～10.10は中止

- 内 容：①地域を水害から守っている排水機場の働きについての説明
②流域の特性（地形、水害対策の歴史、他）の説明
③排水機場の施設見学



親松排水機場



大秋排水機場

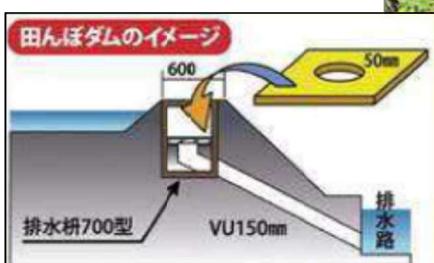


白根排水機場

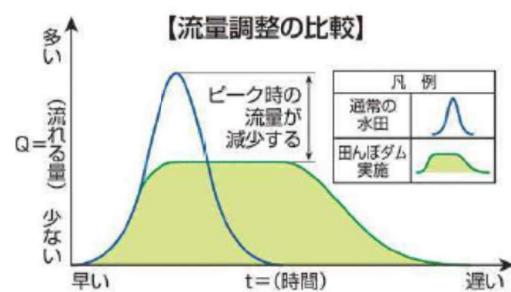
- 新潟県では、地域の自発的な共同活動として行う流出抑制の「田んぼダム」の取組について、関係機関と連携し普及啓発に取り組んでいます。

田んぼダム（例）

田んぼダムは、落水口の絞り込み（調整板）により、降雨の一部を水田に貯留する機能を持たせて、流出量を遅延する効果がある

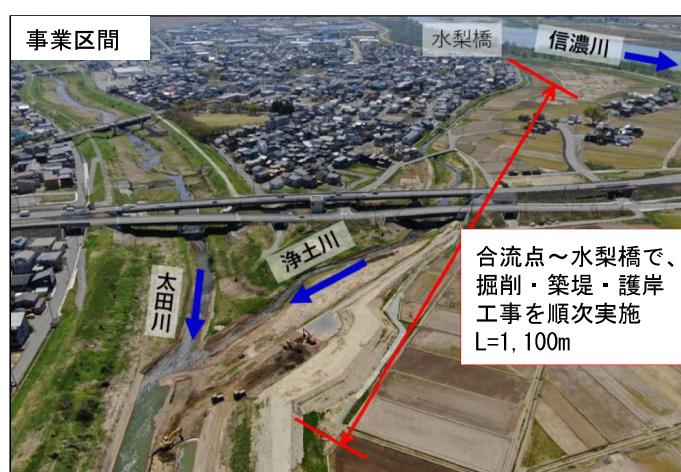


流出量抑制 効果



じょうど 一級河川浄土川河川改修事業の進捗状況

- 浄土川は、金倉山に源を発し、長岡市左近地先で太田川に合流する信濃川の2次支川で、流路延長8.4kmの一級河川です。
- 令和元年の台風第19号では、太田川の下流で合流する信濃川の水位上昇によるバックウォーター現象※が発生し、床上浸水11戸、床下浸水115戸の被害が発生しました。※ 下流側の水位上昇によって上流側の水位も上昇する現象
- 現在、太田川合流点から水梨橋までの約1,100mの区間において、令和元年の台風第19号時と同規模のバックウォーター現象が発生しても浸水被害が起こらないようにするために、河道掘削や築堤などの工事を進めています。



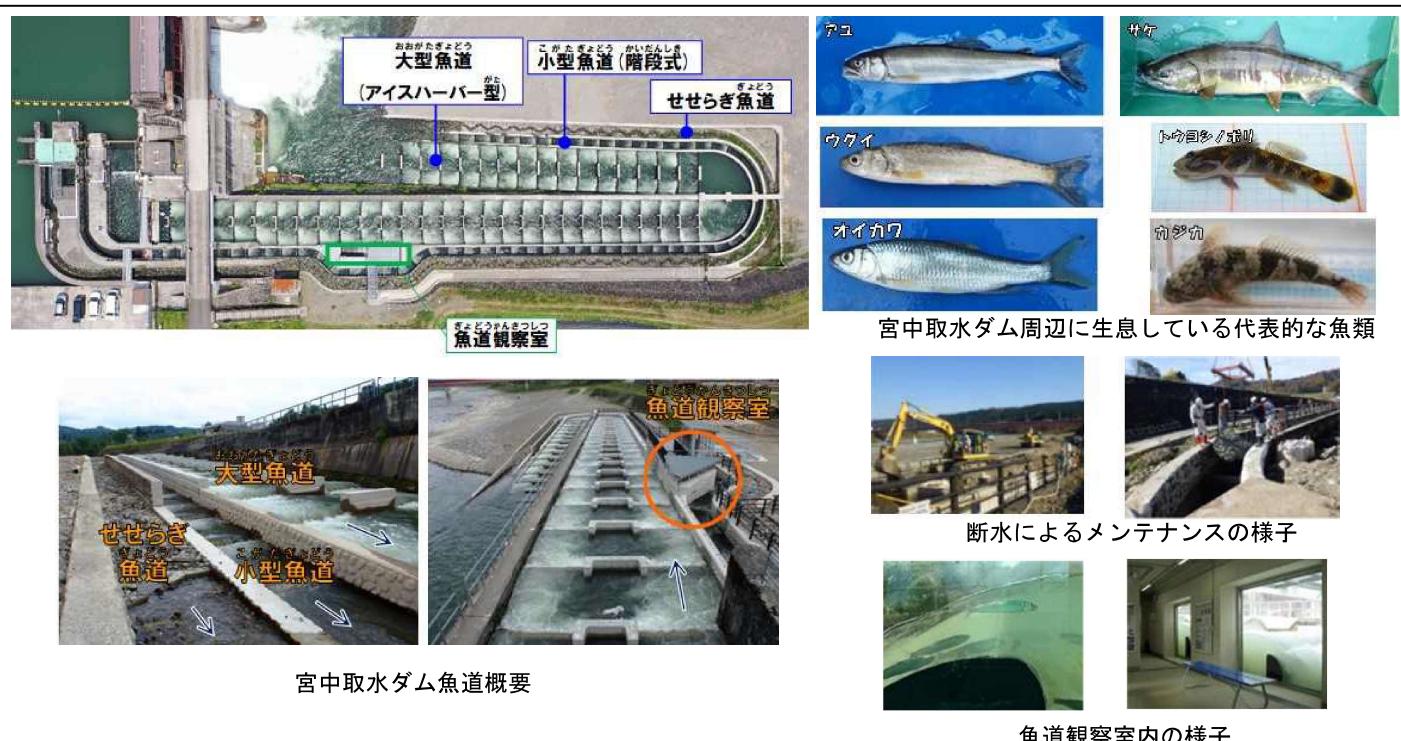
洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進

- 令和元年東日本台風により、信濃川中流域から千曲川上流域の広範囲にわたって甚大な被害が発生したことから、関係機関が連携して信濃川水系緊急治水対策プロジェクトを実施中。
- 新潟県では信濃川からの越水等による家屋部の浸水防止のため、築堤、掘削及び護岸の整備を実施している。



宮中取水ダム魚道整備および維持管理・魚道観察室整備

- 平成22年～24年に宮中取水ダム魚道を大型・小型の2種類からせせらぎ魚道を追加した3種類の魚道へ改築し、底生魚を含め多様な魚類が生息・生育する場を提供している。また、年に1度断水し構造物のメンテナンスを行っている。
- 宮中取水ダム魚道内に魚道を側面から観察することができる魚道観察室を設け、室内に魚道を通る魚類および魚道の紹介を行うポスターやビデオを整備し、魚類や魚道に触れ合い学習する場を提供している。



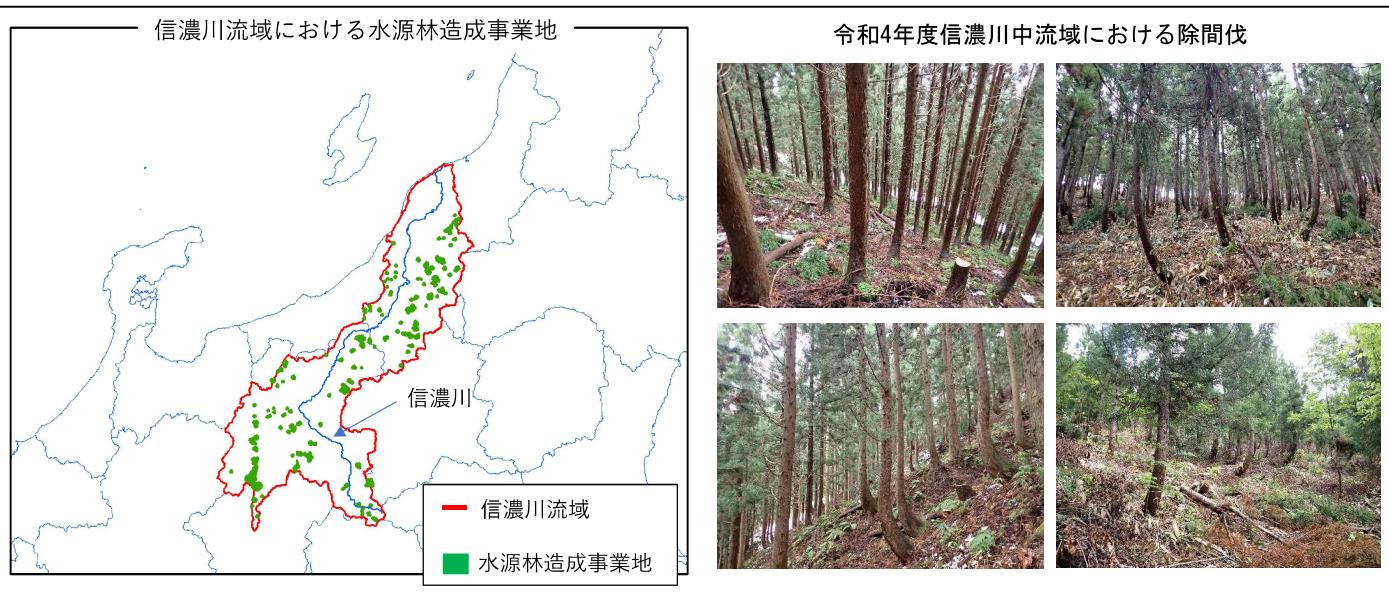
○関東森林管理局中越森林管理署では国有保安林約89,611haを管理している。平成23年の新潟・福島豪雨及び令和元年の台風災害により被災した森林の復旧にも取り組んでおり、令和4年度には、山腹工0.10haを実施した。また、森林の有する公益的機能を発揮するため、森林整備事業を行い、除・間伐26.72haを実施した。

①南魚沼市清水地内の国有林を新たに保安林指定し、水源のかん養・災害の防止等公益的機能の発揮を図りつつ、流域内の洪水緩和機能の充実を図る。



中越森林管理署の概要については、<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/chuetu/attach/pdf/index-2.pdf>

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植栽の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・信濃川流域全体における水源林造成事業地は、約296箇所（森林面積 約1万ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。
- ・令和4年度信濃川中流域における実績は、除伐36ha、間伐21haを実施しました。令和5年度も引き続き森林整備を実施していきます。



- 豪雨等により、山地部の斜面崩壊や渓岸侵食・渓床洗堀等により流下した土砂が直接家屋等を襲ったり、信濃川や魚野川等の河川に堆積して洪水氾濫等を引き起こす要因となるため、砂防堰堤等の施設を整備しています。
- また、近年は、斜面崩壊等により土砂とともに流れてくる流木による被害も顕著となっていることから、流木による被害を防止するための砂防施設の整備を進めています。



砂防整備と合わせた憩いの場の創出・魚道整備等

グリーンインフラの取り組み

- 砂防工事で設置した仮排水トンネルは、地域から新たな観光資源としての利活用が期待されていることから、砂防施設とその周辺部の今後の利活用促進に向けて、安全管理の方策を検討しています。
- 砂防施設の整備や改築にあたっては、魚類等生物の生息状況も考慮し、魚道等の整備を合わせて実施しています。

